

神田一明、日勝展

Kazuoaki & Nissko



神田一明《丸テーブルのある静物A》1975年、個人蔵



神田日勝《画室A》1966年、神田日勝記念美術館蔵

2022.4.13(水)



2022.6.26(日)

開館時間 | 10:00~17:00(最終入場16:30)

観覧料 一般 530(470)円 高校生 320(260)円 小中学生 210(150)円

休館日 | 毎週月曜日(祝日の場合は開館)、5/6(金)

福原記念美術館との共通入館券 一般 700円 高校生 300円 小中学生 200円

主催：神田日勝記念美術館 共催：北海道新聞帯広支社
後援：鹿追町、鹿追町教育委員会、神田日勝記念美術館友の会、鹿追町文化連盟、十勝毎日新聞社、NHK帯広放送局、JAGA、おびひろ市民ラジオ FM WING 協力：北海道立旭川美術館

* ()内は10名以上の団体割引料金 *障がい者手帳(身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳)提示の方と、その介添者1名まで無料
*鹿追町民・友の会会員は無料(身分証・会員証を提示)
*北海道立帯広美術館で開催された特別展の半券(有効期限：チケット裏に記載)提示により、割引料金が適用(1枚につき1名1回限り有効)

神田一明、日勝展

Kazuaki & Nissho

1945年8月14日、神田家は一家で北海道の鹿追村(現・鹿追町)に降り立ちました。長男・一明は帯広の高校から東京藝術大学に進学。卒業後は北海道に戻り、北海道教育大学旭川分校(現・北海道教育大学旭川校)で教鞭を取りながら行動展や全道展で活躍しました。次男・日勝は兄の影響で油絵をはじめ、家業の農業に従事しながら制作を続け、独立展や全道展でも注目を集めました。32歳で夭折しました。

兄弟の作品が揃って展示される二人展は日勝の生前には叶わなかったもので、鹿追でも初めての試みとなります。兄・一明と弟・日勝。いずれも北海道を代表する画家として異なる道を歩んだ兄弟ふたりの画業と足跡を、ふたりのふるさと鹿追の地でご覧いただけます。

神田一明 1934-

東京都練馬生まれ。11歳のとき、一家で北海道へ渡り、鹿追に入植。帯広柏葉高等学校を卒業後、東京藝術大学美術学部油画科に進学。卒業後、北海道で中学・高校の美術教諭をつとめたのち、北海道教育大学旭川分校(現・旭川校)で教鞭を取りながら公募展で活躍。1971年の行動展で行動美術賞を受賞。1977年と1979年の2度、安井賞候補にノミネートされている。現在は旭川市在住。北海道教育大学旭川校名誉教授。行動展会員。全道展会員。

神田日勝 1937-1970

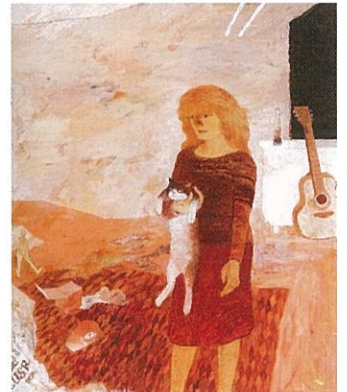
東京都練馬生まれ。7歳のとき、戦火を逃れるため一家で北海道鹿追へ疎開し、そのまま定住。鹿追中学校在学中に兄・一明の影響で油絵を始める。中学卒業後は家業の農業を継いだ。営農に従事する傍ら、地元十勝の平原社展をはじめ、全道展や独立展にも精力的に出品。1961年の全道展で北海道知事賞を受賞し、1967年の独立展で4年連続の入選を果たすなど、将来を嘱望されつつも、1970年に32歳の若さで夭折した。



神田一明 《赤い室内日》1964年、個人蔵



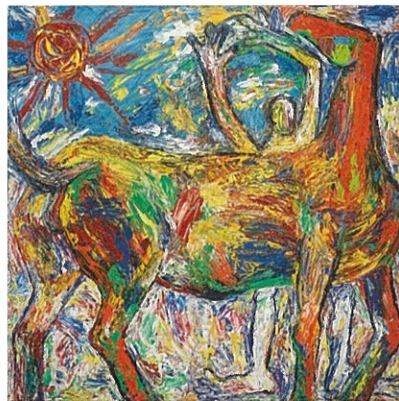
神田一明 《窓のある室内》1981年、北海道立旭川美術館蔵



神田一明 《猫と女》2012年、個人蔵



神田日勝 《飯場の風景》1963年、神田日勝記念美術館蔵



神田日勝 《晴れた日の風景》1968年、神田日勝記念美術館蔵



神田日勝 《馬(絶筆・未完)》1970年、神田日勝記念美術館蔵

関連イベント


担当学芸員によるギャラリートーク(全3回)

日時 ①4/16(土) ②5/21(土) ③6/11(土)
いずれも14:00~(約30分)

会場 | 本展会場(ロビー集合) 参加無料(要観覧券)

最新情報をSNSで発信中

 @kandanissho

 「神田日勝記念美術館」で検索

アクセス

■飛行機

羽田空港からとかち帯広空港(約1時間30分)
とかち帯広空港から空港連絡バスで帯広駅バスターミナルまで約40分
※新千歳空港利用の場合はJR南千歳駅で帯広・釧路行特急へ乗り換え

■鉄道(特急とかち・特急おぞら)

JR札幌駅から乗車し、JR新得駅下車(約2時間20分)
またはJR札幌駅から乗車し、JR帯広駅下車(約2時間45分)

■路線バス

北海道拓殖バス51・52・53系統「鹿追・新得・然別湖線」
新得駅前から乗車し「鹿追役場前」下車(約30分)、バス停から徒歩で5分
帯広駅バスターミナル④番乗り場から乗車し「神田日勝記念美術館前」下車(約1時間)

■自家用車

帯広市内から鹿追町まで一般道で約35km
札幌から道東自動車道「十勝清水IC」下車後、一般道で約20km